

【体育・保健体育科】

1 体育・保健体育科における課題

- 習得した知識や技能を活用して課題解決することや、学習したことを相手に分かりやすく伝えること等に課題がある。
- 運動する子供とそうでない子供の二極化傾向が見られる。
- 子供の体力について、低下傾向には歯止めが掛かっているものの、体力水準が高かった昭和60年ごろと比較すると、依然として低い状況が見られる。
- 健康課題を発見し、主体的に課題解決に取り組む学習が不十分であり、社会の変化に伴う新たな健康課題に対応した教育が必要である。

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成28年12月 中央教育審議会（答申）】

2 体育・保健体育科教育に求められるもの

【体育】

- 運動に対する興味や関心を高め、技能の指導に偏ることなく、「する、みる、支える」に「知る」を加え、三つの資質・能力をバランスよく育むことができる学習過程を工夫し、充実を図ること。
- 粘り強く意欲的に課題の解決に取り組むとともに、自らの学習活動を振り返りつつ、仲間と共に課題を解決し、次の学びにつなげる主体的・協働的な学習過程を工夫し、充実を図ること。

【保健】

- 健康に関心をもち、自他の健康の保持増進や回復を目指して、疾病等のリスクを減らしたり、生活の質を高めたりすることができるよう、知識の指導に偏ることなく、三つの資質・能力をバランスよく育むことができる学習過程を工夫し、充実を図ること。
- 健康課題に関する課題解決的な学習過程や、主体的・協働的な学習過程を工夫し、充実を図ること。

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成28年12月 中央教育審議会（答申）】

3 学習指導要領の主な改善点について

小学校

- ・ 運動領域において、「カリキュラム・マネジメント」及び主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する観点から、発達段階のまとまりを考慮し、系統性を踏まえた指導内容の一層の充実が図られた。
- ・ 運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるよう指導内容の充実が図られ、共生の視点を重視して改善が図られた。
- ・ 保健領域において、「技能」に関連して心の健康、けがの防止の内容の改善とともに、運動領域との一層の関連を図った内容等について改善が図られた。

【小学校学習指導要領解説 体育編 平成29年7月 文部科学省】

中学校

- ・ 体育分野において、「カリキュラム・マネジメント」及び主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する観点から、発達段階のまとまりを考慮し、系統性を踏まえた指導内容の一層の充実が図られた。
- ・ 運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるよう指導内容の充実が図られ、共生の視点を重視して改善が図られた。
- ・ 保健分野において、心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容、ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容等の充実が図られた。
- ・ 個人生活における健康課題を解決することを重視する観点から、健康な生活と疾病の予防の内容が学年ごとに配当されるとともに、体育分野との一層の関連を図った内容等について改善が図られた。

【中学校学習指導要領解説保健 体育編 平成29年7月 文部科学省】

高等学校

- ・ 科目体育については、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、健康や体力の状況に応じて自ら体力を高める方法を身に付け、運動やスポーツの習慣化につなげる観点から、体づくり運動の内容等について改善を図る。
- ・ スポーツの意義や価値等の理解につながるよう内容等について改善を図る。知識に関する領域において、オリンピック・パラリンピックの意義や価値及びドーピング等の内容等について改善を図る。
- ・ 科目保健については、少子高齢化や疾病構造の変化による現代的な健康課題の解決に関わる内容や、ライフステージにおける健康の保持増進や回復に関わる内容及び一次予防のみならず、二次予防や三次予防に関する内容を改善するとともに、人々の健康を支える環境づくりに関する内容の充実を図る。また、科目体育と一層の関連を図り、心身の健康の保持増進や回復とスポーツとの関連等の内容等について改善を図る。

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成28年12月 中央教育審議会（答申）】